



T&K TOKA®

2012年3月期 決算説明会



株式会社 T&K TOKA

T&K TOKA CO., LTD.

2012年5月11日

目次

I. 12.3期業績と13.3期予想

II. 当社の取組み

III. 13.3期の重点課題

I. 12.3期業績と13.3期予想

2012年3月期のトピックス

2012年3月期の実績

■東京証券取引所市場第二部上場

- 2012年3月2日に東京証券取引所市場第二部へ上場

■省電力型UV照射装置用印刷機の導入が増加

- 次世代のUV印刷の主力となる、省電力型UV照射装置付き印刷機用のUVインキを開発・販売
- 印刷市場において省電力型UV照射装置付印刷機導入が増加傾向

■特殊UVインキ集約工場の着工

- 埼玉事業所の特殊UVインキの品質向上・生産性効率化のための工場を着工(竣工・平成24年9月予定)

■不安定な原材料価格

- 東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断が国内外に波及
特にフェノール樹脂を日本企業が緊急調達先として中国、韓国に求めた結果、各国でも高騰

2012年3月期の実績と成果

2012年3月期の実績

■ 売上高・・・484億84百万円 2.8%

為替換算時の円転換額で5億16百万円減少

【版別】

- グラビアインキ・・・19.8%
- UVインキ・・・▲0.5%
 - (内訳) 一般UVインキ 6.8%
 - 特殊UVインキ ▲17.6%

■ 営業利益・・・収益構造を8ページ

■ 当期利益・・・14億52百万 ▲35.4%

➤ 特別損失・・・4億2百万

- (内訳) チマニートオカ為替差損 1億33百万 (前期2億34百万円の為替差損)
- 投資有価証券評価損 1億72百万

2012年3月期の実績

▶ 連結損益計算書(百万円)

	10.3期	11.3期	12.3期	増減額	増減率	期初予想	差額	達成率
売上高	44,626	47,185	48,484	1,298	2.8%	48,760	▲275	▲0.6%
売上原価	34,366	36,650	38,724	2,074	5.7%	38,840	▲115	▲0.3%
	(77.0%)	(77.7%)	(79.9%)	(2.2%)		(79.7%)	(0.2%)	
売上総利益	10,259	10,535	9,760	▲775	▲7.4%	9,920	▲159	▲1.6%
	(23.0%)	(22.3%)	(20.1%)	(▲2.2%)		(20.3%)	(▲0.2%)	
販管費	6,992	6,799	7,032	233	3.4%	6,990	42	0.6%
	(15.7%)	(14.4%)	(14.5%)	(0.1%)		(14.3%)	(0.2%)	
営業利益	3,266	3,736	2,727	▲1,008	▲27.0%	2,930	▲202	▲6.9%
	(7.3%)	(7.9%)	(5.6%)	(▲2.3%)		(6.0%)	(▲0.4%)	
経常利益	3,540	3,758	2,843	▲915	▲24.4%	2,960	▲116	▲3.9%
	(7.9%)	(8.0%)	(5.9%)	(▲2.1%)		(6.1%)	(▲0.2%)	
当期利益	4,290	2,248	1,452	▲795	▲35.4%	1,580	▲127	▲8.1%
	(9.6%)	(4.8%)	(3.0%)	(▲1.8%)		(3.2%)	(▲0.2%)	

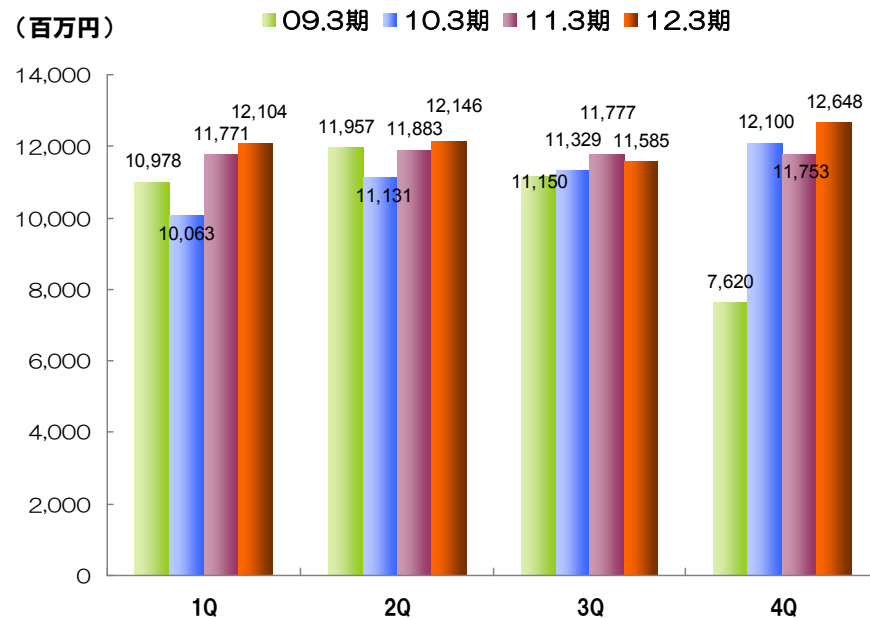
▶ 連結製品別売上高(百万円)

	10.3期	11.3期	12.3期	増減額	増減率	期初予想	差額	達成率
平版インキ	15,254	15,199	15,518	319	2.1%	16,045	▲526	▲3.3%
UVインキ	18,427	20,333	20,238	▲94	▲0.5%	20,860	▲621	▲3.0%
その他インキ	3,591	3,784	4,386	602	15.9%	4,155	231	5.6%
その他	3,489	3,705	3,789	84	2.3%	3,880	▲90	▲2.3%
製品計	40,762	43,022	43,933	911	2.1%	44,940	▲1,006	▲2.2%
商品	3,863	4,163	4,550	387	9.3%	3,820	730	19.1%
総計	44,626	47,185	48,484	1,298	2.8%	48,760	▲275	▲0.6%

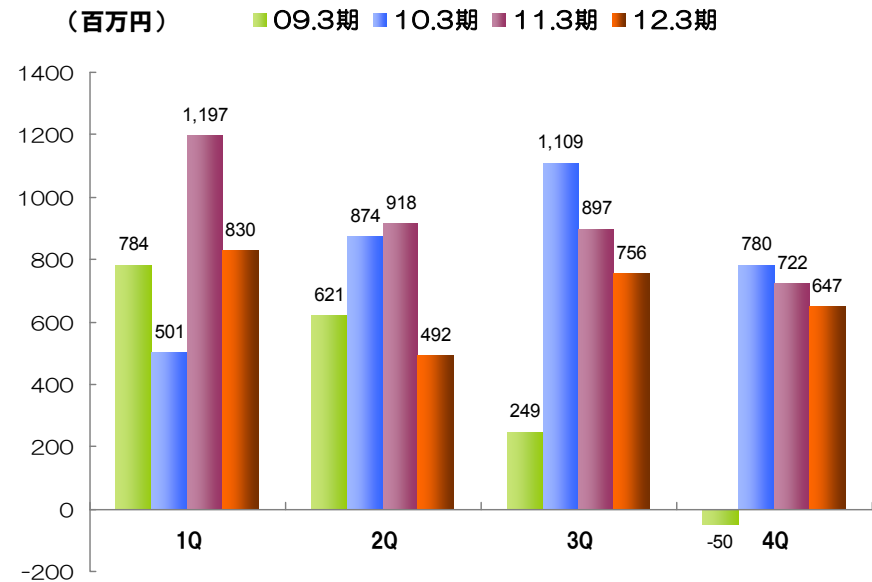
四半期ごとの業績推移

■震災の影響による緊急調達やロジン等の高騰により不安定な原材料価格で推移

【売上高の推移】



【営業利益の推移】

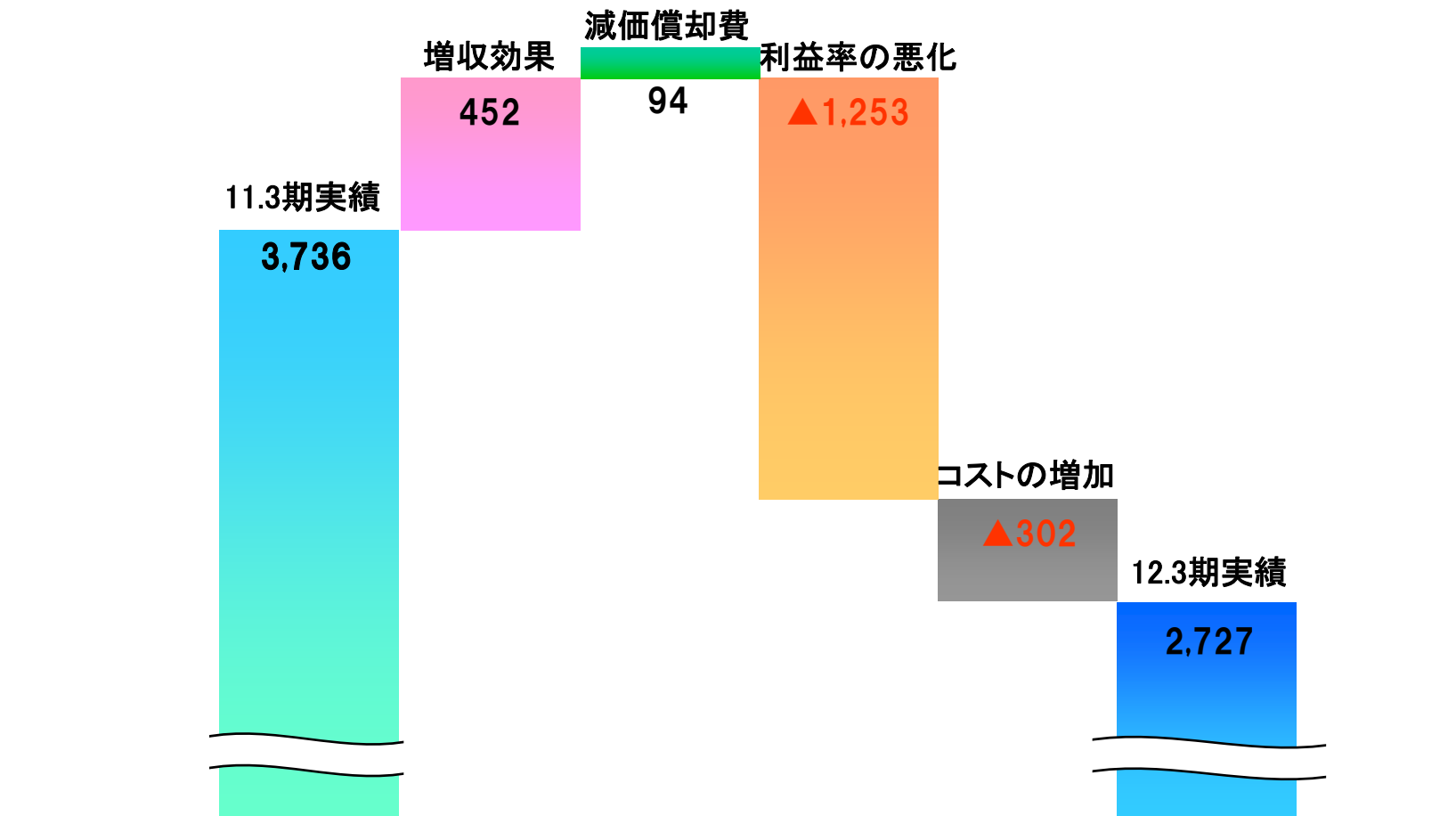


連結貸借対照表、キャッシュフロー計算書

貸借対照表	10.3期	11.3期	12.3期	増減額	増減率	備考
流動資産	27,218	28,727	29,190	462	1.6 %	
現金及び預金	4,495	5,329	4,563	▲766	▲14.4 %	
受取手形・売掛金	15,888	16,296	17,417	1,121	6.9 %	
棚卸資産	6,159	6,437	6,253	▲183	▲2.8 %	
その他	675	663	955	291	43.9 %	
固定資産	20,115	19,567	20,229	661	3.4 %	
有形固定資産	17,099	16,239	16,928	688	4.2 %	
無形固定資産	178	195	245	49	25.4 %	
投資その他の資産	2,837	3,132	3,055	▲76	▲2.5 %	
資産合計	47,333	48,294	49,419	1,124	2.3 %	
流動負債	14,337	14,588	14,486	▲101	▲0.7 %	
支払手形・買掛金	9,491	9,886	10,097	210	2.1 %	
短期借入金	1,983	1,994	1,778	▲215	▲10.8 %	
1年内償還の社債	10	10	7	▲3	▲30.0 %	
固定負債	1,872	1,889	2,142	252	13.4 %	
社債	10	0	43	43	-	
長期借入金	94	35	31	▲3	▲11.0 %	
退職給付引当金	825	963	1,106	142	14.8 %	
役員退職慰労引当金	179	153	149	▲3	▲2.6 %	
負債合計	16,210	16,478	16,628	150	0.9 %	
純資産合計	31,123	31,816	32,790	973	3.1 %	
負債・純資産合計	47,333	48,294	49,419	1,124	2.3 %	

キャッシュフロー	10.3期	11.3期	12.3期	増減額	増減率	備考
営業CF	5,011	3,803	2,879	▲923	▲24.3%	
投資CF	▲731	▲2,016	▲3,734	▲1,717	▲85.2%	
財務CF	▲4,529	▲595	▲637	▲42	▲7.2%	
CF期末残高	3,682	4,594	3,018	▲1,576	▲34.3%	

2012年3月期の営業利益の増減分析



(単位:百万円)

2013年3月期の予想

▶ 連結損益計算書(百万円)

	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期	13.3期予	増減額	増減率	備考
売上高	41,707	44,626	47,185	48,484	50,200	1,715	3.5 %	
売上原価	33,184	34,366	36,650	38,724	40,100	1,375	3.6 %	
	(79.6 %)	(77.0 %)	(77.7 %)	(79.9 %)	(79.9 %)	(0.0 %)		
売上総利益	8,523	10,259	10,535	9,760	10,100	339	3.5 %	
	(20.4 %)	(23.0 %)	(22.3 %)	(20.1 %)	(20.1 %)	(0.0 %)		
販管費	6,918	6,992	6,799	7,032	7,280	247	3.5 %	
	(16.6 %)	(15.7 %)	(14.4 %)	(14.5 %)	(14.5 %)	(0.0 %)		
営業利益	1,605	3,266	3,736	2,727	2,820	92	3.4 %	
	(3.8 %)	(7.3 %)	(7.9 %)	(5.6 %)	(5.6 %)	(0.0 %)		
経常利益	1,332	3,540	3,758	2,843	2,910	66	2.3 %	
	(3.2 %)	(7.9 %)	(8.0 %)	(5.9 %)	(5.8 %)	(▲0.1 %)		
当期利益	▲201	4,290	2,248	1,452	1,650	197	13.6 %	
	(▲0.5 %)	(9.6 %)	(4.8 %)	(3.0 %)	(3.3 %)	(0.3 %)		

▶ 連結製品別売上高(百万円)

	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期	13.3期予	増減額	増減率	
平版インキ	14,476	15,254	15,199	15,518	16,726	1,207	7.8 %	
UVインキ	16,384	18,427	20,333	20,238	20,891	652	3.2 %	
その他インキ	3,459	3,591	3,784	4,386	4,730	343	7.8 %	
その他	3,511	3,489	3,718	3,789	3,873	83	2.2 %	
製品計	37,832	40,762	43,036	43,933	46,220	2,286	5.2 %	
商品	3,875	3,863	4,149	4,550	3,980	▲570	▲12.5 %	
総計	41,707	44,626	47,185	48,484	50,200	1,715	3.5 %	

2013年3月期予想の前提

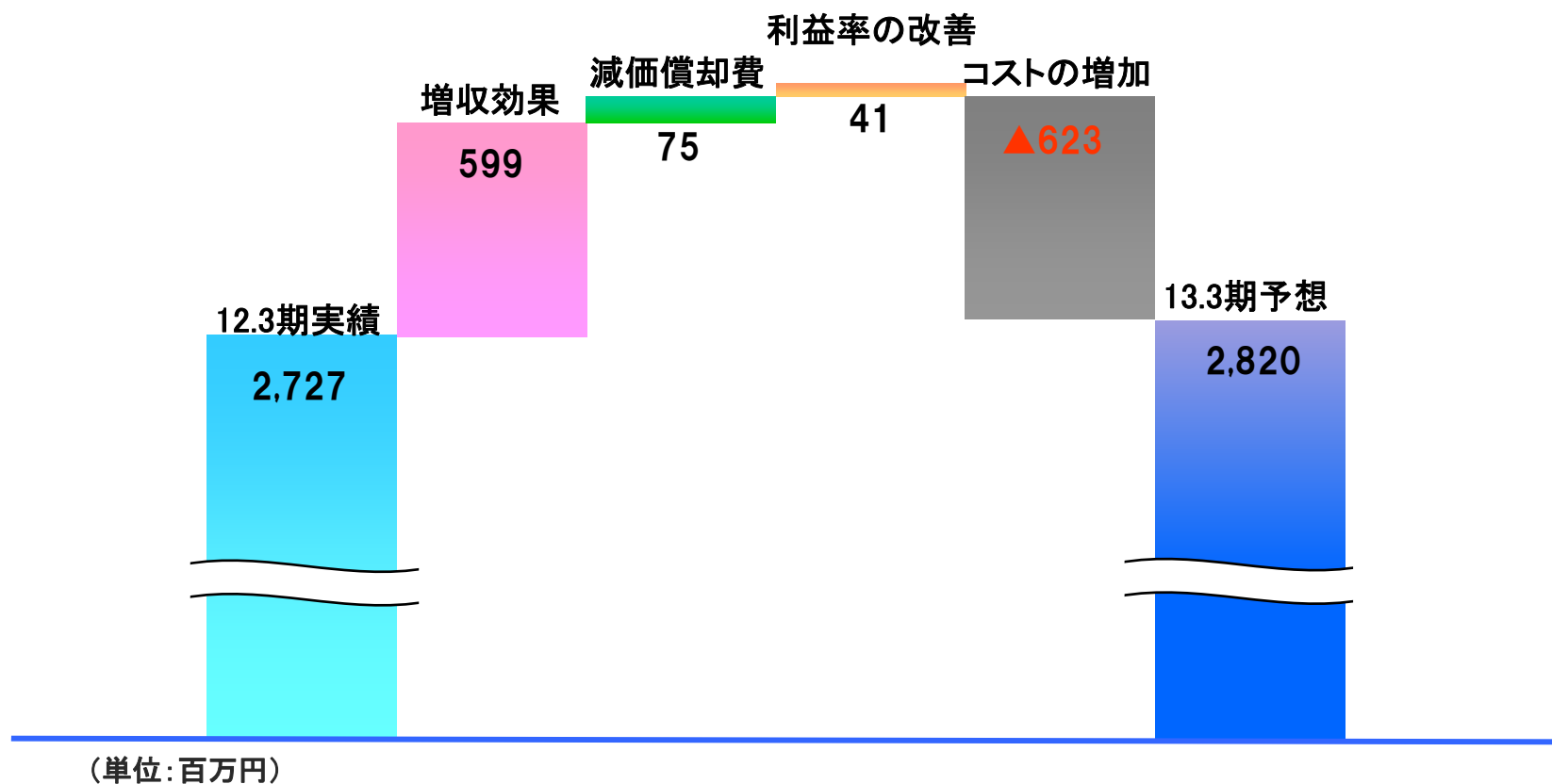
2013年3月期予想の前提

- **売上高**・・・増収。印刷インキ市場のシェア拡大を目指す
 - **版別** : 平版インキ、一般UVインキが伸張
 - **地域別** : 中国・アジアが牽引

- **営業利益**・・・原材料費は高値ながらも安定して推移
中国・深圳に新会社設立の影響で販管費は増加するも
対売上高比率は前期並みに抑制

- **配当金**・・・上期・下期で1株につき13円とし、年間26円を予定

2013年3月期の営業利益の増減分析



設備投資、減価償却費、研究開発費の推移

(百万円)

	07.3期	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期	13.3期予
設備投資	3,705	2,482	2,743	1,761	1,472	2,691	3,841
減価償却費	1,366	1,505	1,632	1,931	2,270	2,210	1,948
研究開発費	934	1,072	1,261	1,159	1,074	1,101	1,056

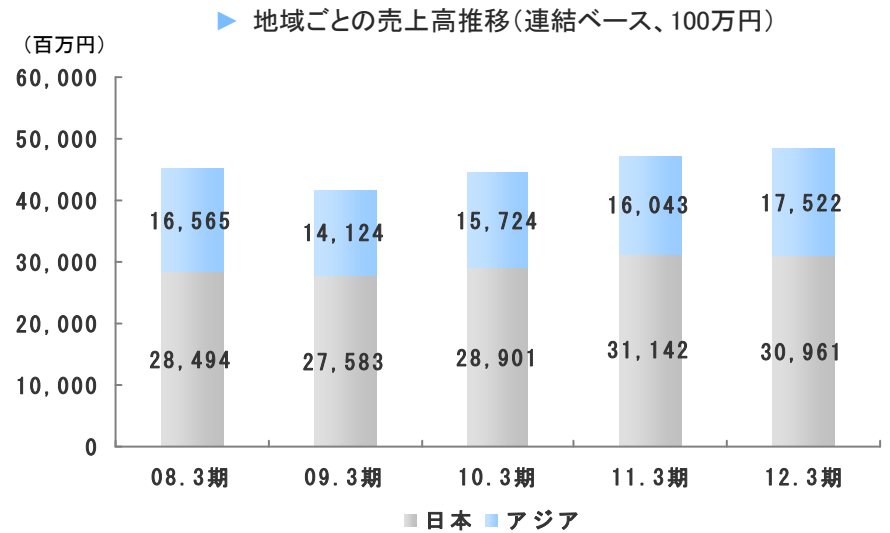
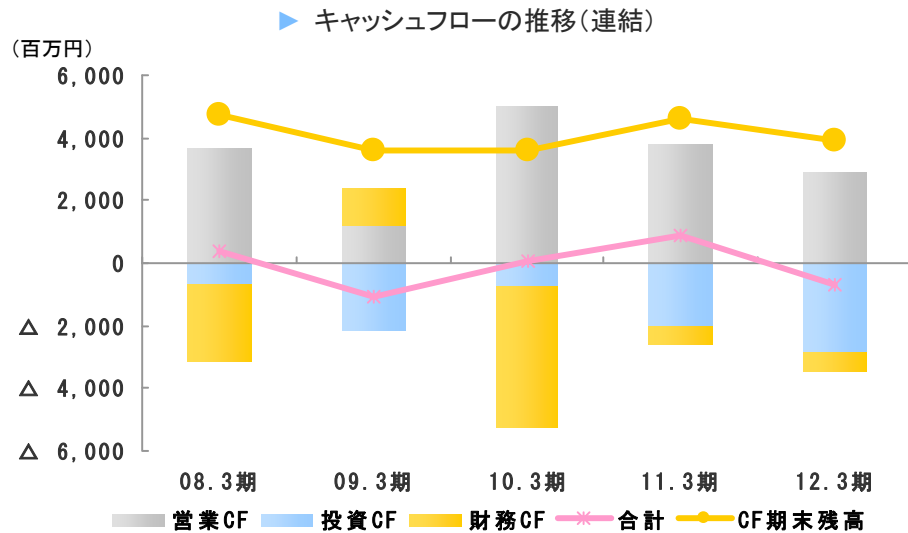
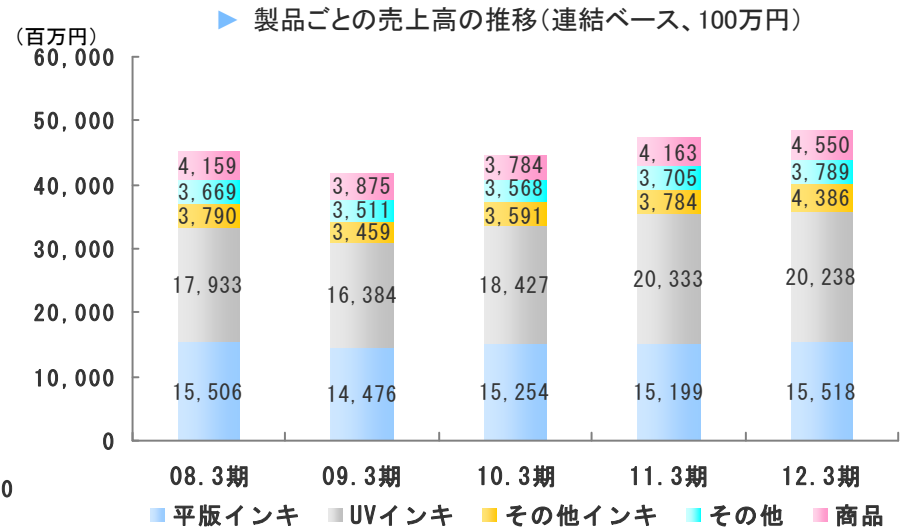
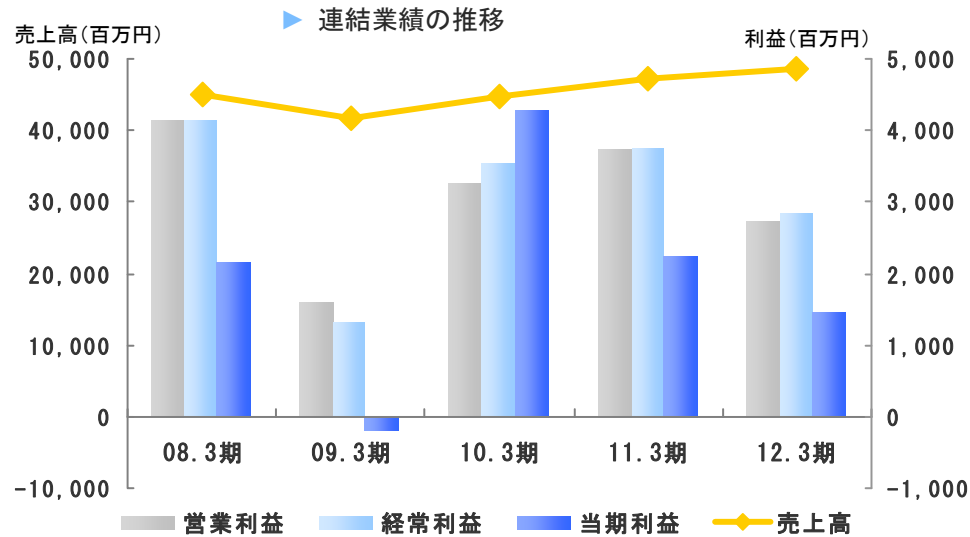
【12年3月期設備投資実績】

- 国内 … 22.9億円
 - 特殊UVインキ集約工場 7.3億円 (竣工・平成24年9月予定)
 - 一般UVインキ生産設備 3.7億円
 - 支店改修工事 5.1億円
- 海外 … 3.9億円
 - 中国・杭華油墨 1.7億円

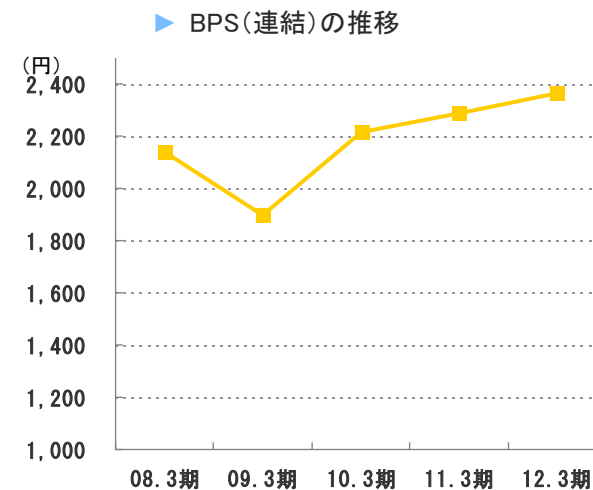
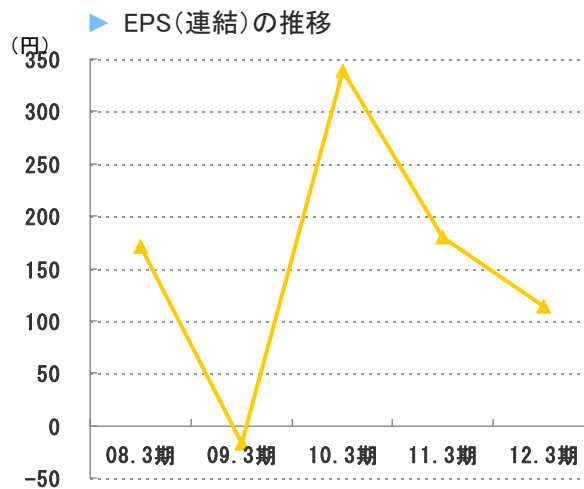
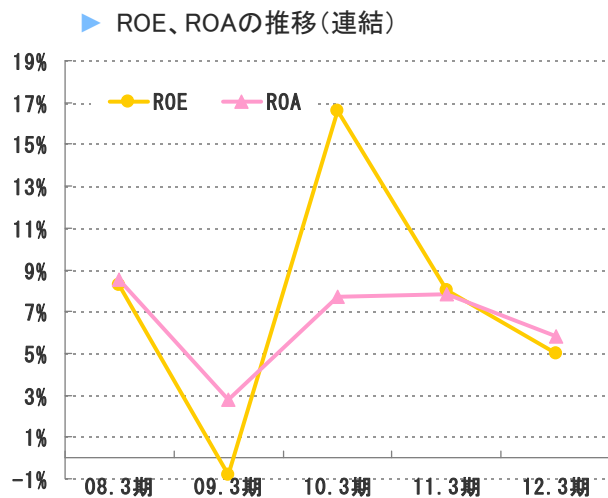
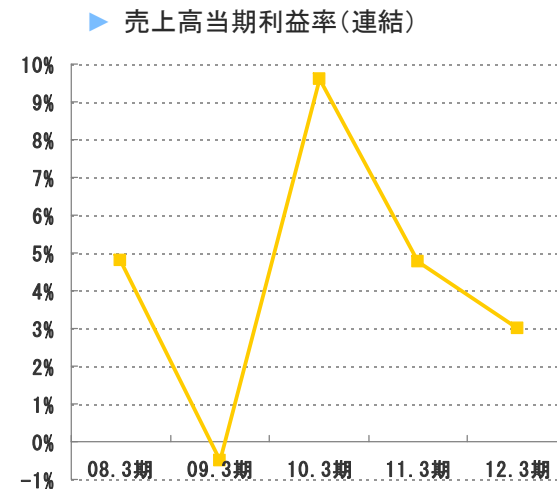
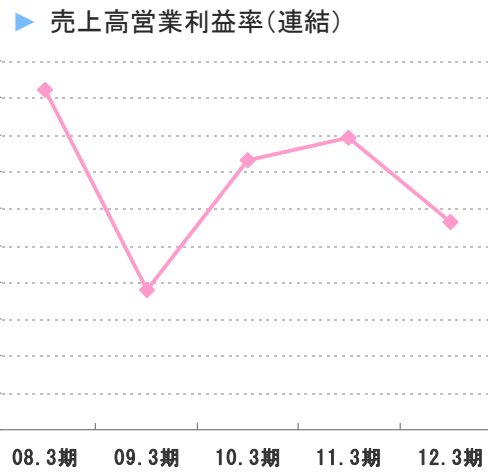
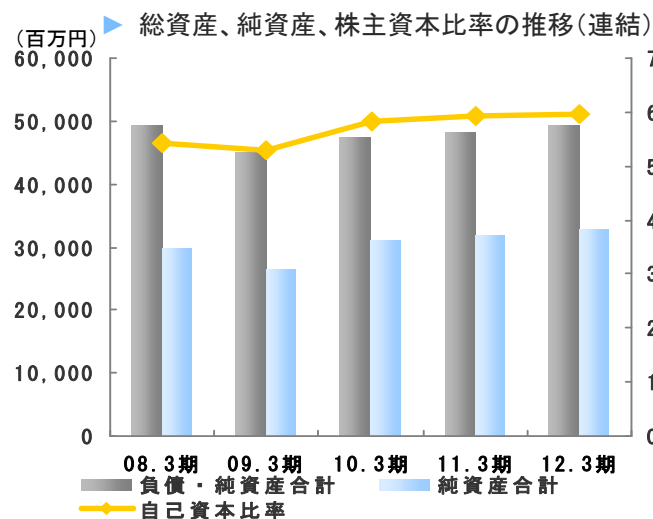
【13年3月期設備投資計画】

- 国内 … 31.2億円
 - 特殊UVインキ集約工場 14.4億円 (竣工・平成24年9月予定)
 - 埼玉生産工場環境規制設備 3.8億円
 - 福岡支店新社屋 5.7億円
- 海外 … 7.1億円
 - 中国・杭華油墨生産設備 6.7億円

業績推移



経営指標

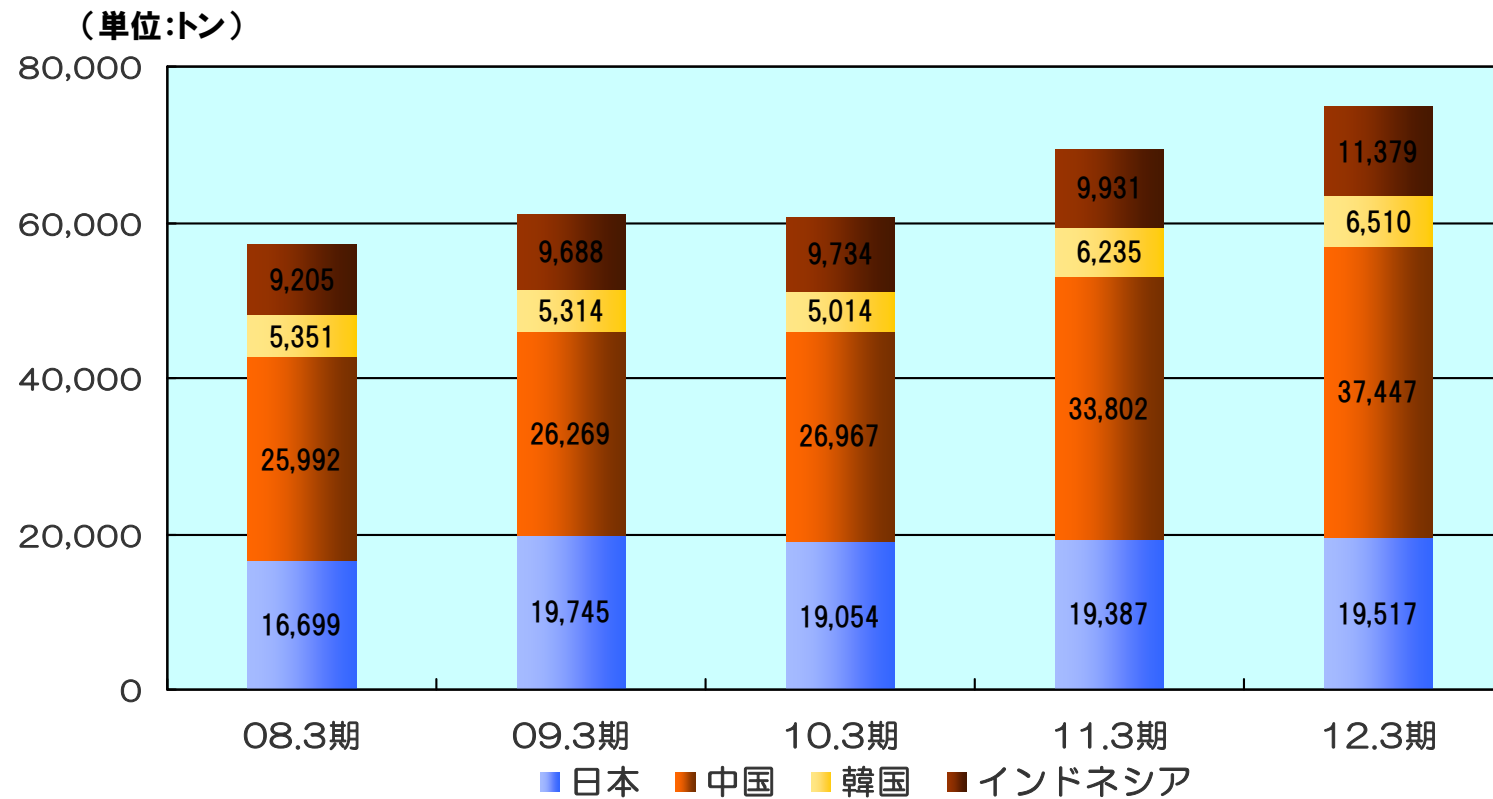




II. 当社の取組み

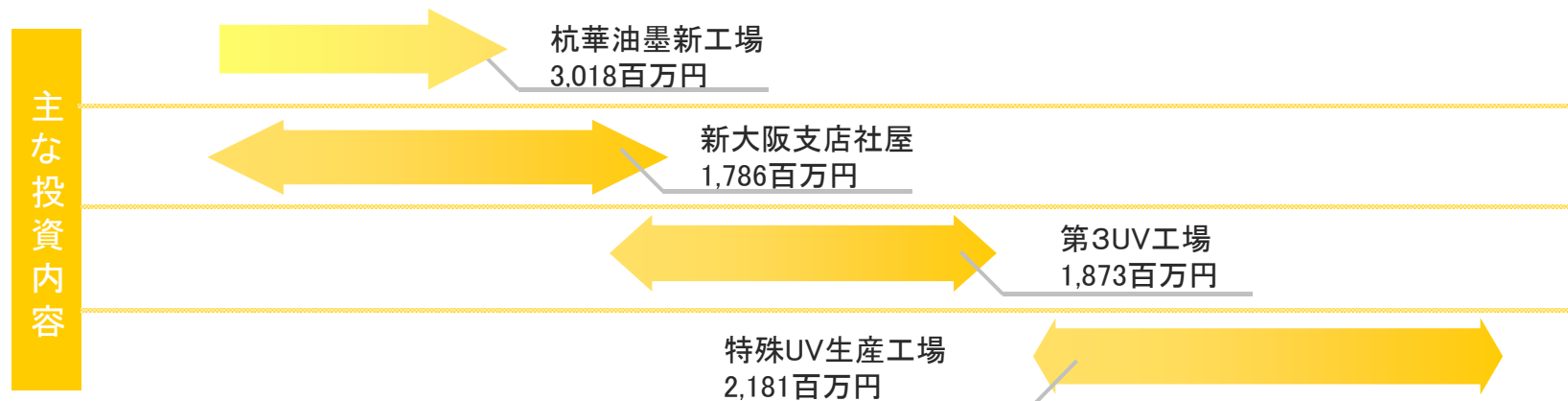
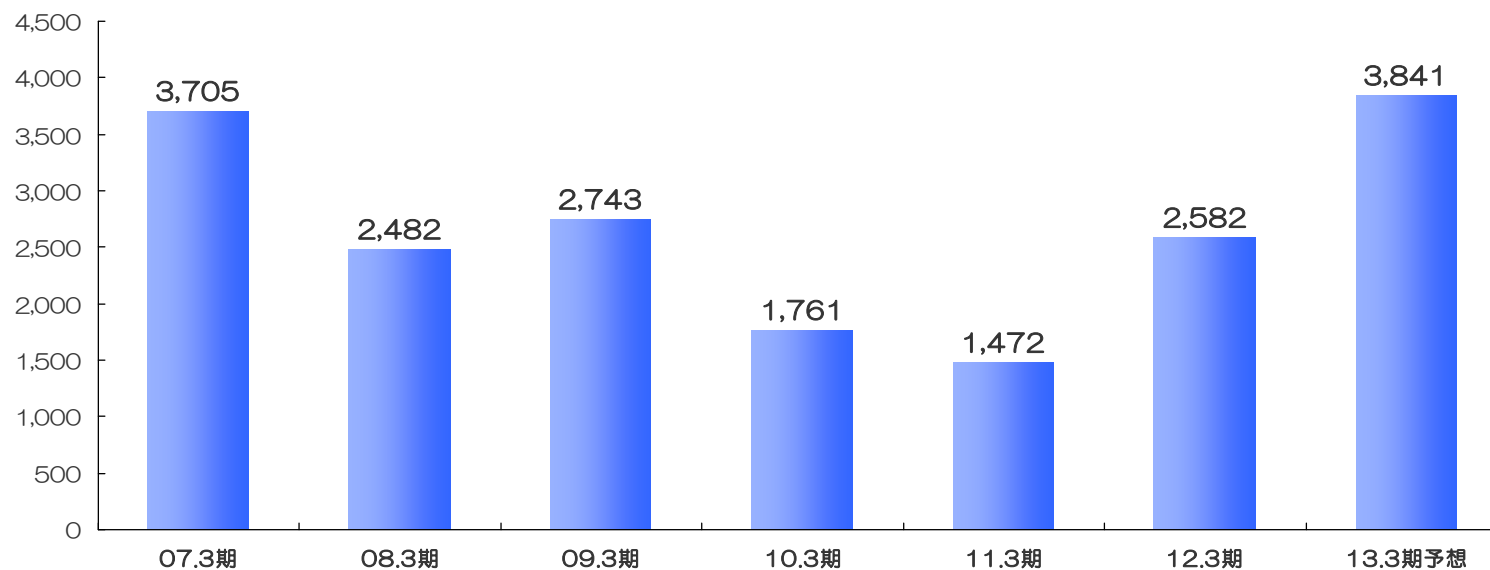
当社の生産能力(海外展開)

- 海外での生産活動が牽引
 - 中国での生産能力の上昇
 - インドネシアでの生産が堅調



積極的な設備投資

- 07.3期以降、7年間で約190億円
- 品質の向上、生産性の効率化、生産能力の増強





III. 2013.3期の重点課題

13.3期の重点課題

1)環境に配慮した製品の拡販

- ・ UVインキ……………設備導入が活発な省電力型UV印刷機(LED-UV、減灯、低出力)で使われる高感度UVインキ分野においても高シェアを確保
- ・ 油性インキ……………脱石油系溶剤の植物油(ライスインキ)ベースオフセット枚葉インキの普及
- ・ グラビアインキ…軟包装印刷でのラミネート加工を省く、高品位表刷りグラビアインキの拡販
- ・ 合成樹脂……………水性エポキシ樹脂・硬化剤の開発と拡販

2)特殊UVインキの研究および生産体制の強化

- ・ 液晶カラーフィルター向けなどの特殊UVインキの競争力を高めるべく、製品開発力の向上および生産性の効率化を実現

3)市場の開拓

- ・ UVインキを軸として、アジア、欧米、南米市場を深耕
当社及び当社グループの力を集結して、高品質の製品を安定供給

～企業理念～

Technology & kindness 技術とまごころ

時代は変わっても、伝えたいモノは変わらない

T&K TOKAIは、創業から60数年、一貫してインキを専業としてまいりました。「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすくいいものを提供していこう」という「まごころ」は60年経った今も、当社のDNAとして息づいています。これは、100年後も変わらないし、変えてはいけなく強く思っています。

一方で「テクノロジー」。今現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、よりいっそうの変化が必要だと考えています。

時代は『小ロット多品種生産』が求められています。これはまさしく当社の得意とするところであり、今まで以上にお客様の要望に応えていけるものと確信しております。インキメーカーとして先発ではありませんが、だからこそチャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案させていただきたいと考えています。

～投資家・株主の皆様へ～

「明 鮮 渋 暗 強 着・・・」

無数・無限に求められる色をどの様に表現するか？

T&K TOKA及びTOKAグループは日々活動しております。目で捉えるだけでなく、
触れる・嗅ぐ・・・ 色それぞれに多様な機能を盛り込み、新たな価値を創造する。

TOKAは色んな事に挑戦し続けます。



IRの問合せ先
株式会社 T&K TOKA 財務部
Tel. 03-3963-0511

会社概要

- 社名 株式会社T&K TOKA
- 本社 東京都板橋区泉町20-4
- 代表者 代表取締役社長: 増田至克
- 設立 1949年(昭和24年)12月、東京都板橋区に設立
- 事業内容
 - ・ 事業内容: 紫外線硬化型インキ(UVインキ)やオフセットインキ、グラビアインキ等の印刷用インキや特殊インキ、印刷関連機材の製造販売、印刷機械などの販売
 - ・ 合成樹脂、同原材料の製造販売、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業
- 資本金 2,060百万円
- 連結子会社 印刷インキ関連の国内子会社のほか、アジアを中心とした海外展開を強化しており、インドネシアや韓国、中国、バングラディッシュに生産及び販売を目的とした現地法人を展開
国内連結子会社2社、海外連結子会社9社、海外持分方適用会社1社
- 従業員数 連結1,584人(248人)、単体596人(51人)
(2012.3月期末、()は臨時雇用者数の年間平均外数)

ご参考：主要製品の紹介

主要製品の種類	製品の特徴	主な用途
紫外線硬化型インキ (UVインキ)	印刷後、紫外線(UV)を照射することにより、瞬時に硬化(乾燥)するインキで、乾燥が速いこと、皮膜が硬い性質が活用され、紙だけでなく、フィルム、金属に印刷されます。 印刷方式は、平版インキだけでなく、樹脂凸版、スクリーンなどが使われています。	紙器、ラベル、カード、パンフレット、各種缶など
平版インキ (オフセットインキ)	印刷方式の中でもっとも主流な方式であり、平らな形状の印刷版上の水(湿し水)と油(インキ)が反発する性質を利用する方式であります。粘性のある印刷インキを印刷版から、ブランケットに転移して、さらに紙などに再転移して印刷します。印刷機には、枚葉印刷機と輪転印刷機があり、それぞれ枚葉インキとオフ輪インキが使用されます。最近では、水を使用しないシリコーンゴムを活用した印刷版を使う水なし平版印刷もあります。	ポスター、パンフレット、カタログ、雑誌、チラシなど
樹脂凸版インキ (フレキシインキ)	ゴム、樹脂などフレキシブルな弾力のある素材からなる凸版形状の印刷版と液状の印刷インキとを用いる印刷方式であります。印刷版の凸部分にインキを転移し、紙やフィルムに直接印刷します。 従来の溶剤タイプだけではなく、水性やUVなど環境に優しい無溶剤型インキへと変化してきております。	ラベル、紙器、紙袋、ダンボール箱など
グラビアインキ	印刷版の凹部分にあるインキを紙やフィルムに転移させる凹版印刷方式であり、大量の印刷物に向いています。	冷凍食品や菓子類の袋、出版物、紙器など
金属印刷用インキ	ブリキ板やアルミニウム板などの金属の表面に絵柄を印刷するインキであり、印刷は各種印刷方式で印刷されます。印刷後、乾燥・焼付けしますが、UV印刷方式も活用されています。	食缶、飲料缶、美術缶など
特殊機能インキ	インキの化学特性や印刷方法を活かし、電子材料を中心とした、さまざまな特殊用途向けであります。	FPD、電子基盤など
合成樹脂	石油系原料や天然由来原料を元に、有機合成反応を駆使して製造される樹脂で印刷インキ、塗料、接着剤、フィルム等の原料となります。	橋梁などへの防食塗料、自動車などへの工業用接着剤、金属コーティング剤、グラビア・フレキシインキ、特殊機能性フィルム、FRP(繊維強化プラスチック)

ご参考：当社のUVインキの用途

印刷対象	分野	用途
紙	食品	飲料容器(牛乳・清涼飲料・酒等紙パック)、菓子外箱、冷凍食品外箱、紙コップ
	医薬・化粧品	医薬・化粧品などの外箱
	一般外箱	玩具・洗剤・煙草などの外箱、贈答品用化粧外箱、DVDボックス、家電製品外箱
	出版・商業	書籍、雑誌、カタログ、ポスター
	その他	トレーディングカード、取扱説明書、カレンダー、グリーティングカード
プラスチック	食品	カップ(麺類・乳製品・デザート類)、ペットボトルのキャップ、チューブ(わさび・辛子・生姜など)
	医薬・化粧品	チューブ(歯磨き・ハンドクリームなど)、ボトル(シャンプー・洗顔料など)
	カード	プリペイドカード、診察券、会員カード類、トランプ類、IDカード、免許証
	その他	パソコン等キーボード、CD・DVD、玩具、クリアファイル、文具・事務用品
シール	粘着シール	シール・ステッカー全般(容器ラベル、食品ラベル、値札シール、自賠責ステッカー、など)
	シュリンクラベル	清涼飲料ラベル(ガラスボトル、PETボトルなど)
	インモールラベル	シャンプー、洗剤など
帳票・証券	帳票全般	ビジネスフォーム用紙、宅配便伝票、貯金通帳、各種マークシート
	金券等	小切手、切符、商品券、通行券、入場券、宝くじ、搭乗券など
金属缶	食品	飲料缶・食缶・美術缶
	その他	ネームプレート、ブリキのおもちゃ、ペンケース

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

T&K TOKU®